

S23a high- z ($z \sim 2$) Quasar 近傍の撮像観測

大屋 真、舞原 俊憲、岩室 史英 (京大理)

我々は1997年3月にハワイ大学の2.2m望遠鏡にQUIRCを取り付け、H+Kバンドと狭帯域フィルター(中心波長:2.17 μm , 波長幅:0.02 μm)を用いてQuasar 1313-1504($z=2.297$)の周辺を撮像観測した。観測した視野は $3' \times 3'$ で、H+Kバンドで20等程度の深さまで観測できた。

Quasarの活動性は銀河同士の相互作用によって引き起こされるという説が一般的になってきている。この説に基づけば、Quasarの周辺は他の場所に比べて銀河の個数密度が大きいことが推測される。このことは、実際にlow- z ($z < 1$)では観測的に確認されている。

我々は、high- z でもQuasarの周辺では銀河の個数密度が大きいと考え、このうち特に活動性が大きい銀河からのH α 輝線を狭帯域フィルターで受けることによって、Quasarの周辺に存在するであろうhigh- z の活動的な銀河を見つけ出すことを主目的として今回の観測を行なった。本講演では、観測の結果について報告する。